

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第5週（令和7年1月27日～令和7年2月2日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第5週は、百日咳の報告が17件ありました。本疾患は、感染後5～10日程度の潜伏期間を経て、風邪症状がみられ、徐々に咳が強くなります。典型的な症状は、顔を真っ赤にしてコンコンと激しく咳き込み、最後にヒューッと音を立てて大きく息を吸うけいれん性の咳発作で、しばしば嘔吐を伴います。1歳以下の乳児、特に生後6か月以下では、重症化する可能性があります。有効な予防法は予防接種です。定期接種が可能ですので、お住まいの市町村にお問合せください。また、新型コロナウイルス感染症等の呼吸器感染症の報告数が増加しています。手洗い、適切なマスクの着用、咳エチケット等を励行し、十分に栄養や睡眠をとるよう心がけましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	52	196	668
A型肝炎	1	1	2	7
レジオネラ症	1	5	40	127
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	14	26	117
急性弛緩性麻痺	1	1	0	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	9	33	154
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	5	13	96
侵襲性肺炎球菌感染症	2	22	86	559
梅毒	17	78	195	755
百日咳	17	57	195	574

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル

注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	1,431	7.26	1.38	29,920	6.06
インフルエンザ	911	4.62	0.43	54,594	11.06
RSウイルス感染症	137	1.15	1.33	2,283	0.73
咽頭結膜熱	50	0.42	1.02	1,038	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	476	4.00	0.97	7,415	2.37
感染性胃腸炎	1,162	9.76	1.13	18,956	6.06
水痘	39	0.33	1.00	810	0.26
手足口病	14	0.12	1.27	372	0.12
伝染性紅斑	24	0.20	1.00	3,074	0.98
突発性発しん	46	0.39	1.59	623	0.20
ヘルパンギーナ	1	0.01	1.00	28	0.01
流行性耳下腺炎	4	0.03	0.80	90	0.03
急性出血性結膜炎	1	0.04	1.00	28	0.04
流行性角結膜炎	8	0.31	0.89	412	0.59
細菌性髄膜炎	1	0.07	—	8	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	—	15	0.03
マイコプラズマ肺炎	11	0.73	0.92	302	0.63
クラミジア肺炎	0	0.00	—	3	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	3	0.20	—	15	0.03

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。